



平成23年12月15日(木)
南郷小学校だより〈第14号〉
電話58-1106 FAX58-0461
ホームページ <http://www.nango.myswan.ne.jp>
【キャッチフレーズ】
夢・目標に向かってキラリ輝く南小っ子

家庭学習と生活習慣づくりに向けて

校長 横江 信一

12月8日の学習参観日には、ご多用のところお越しいただき、ありがとうございました。私から保護者の皆様にお話した内容の一部をまとめましたので、ご確認いただければ幸いです。

1点目は、お手元のプリントにあります通信票の評価についてです。2学期の学習の状況は、1学期と同様に、基礎・基本の確実な理解を図り、「よくできた」「できた」「がんばろう」の3段階で評価しています。特に今学期は、2学期の学習の評価項目をご覧いただくこととなりますが、2学期だけでなく1学期の学習内容はできるようになったのか、3学期にはどんな評価項目があってどんな内容を学習するのかを確認していただき、冬休みの家庭学習でどんな復習や予習をしたらよいのかをお子さんと話し合ってほしいと思います。

2点目は、読書についてです。終業式に子供たちに話す予定ですが、「家庭で読書を毎日続けて20分以上しよう。」を全校児童のめあてにしたいと思います。11月に図書室から本の貸し出しをした冊数は580冊でした。一人当たり月に約2冊の本を借りたこととなります。自分で選んだ本を毎日続けて読むことによって、集中力や課題追求力、新しい漢字やことばとの出会いがあります。知らず知らずのうちに国語力も身に付きます。文章を読む力は、簡単には身に付きません。しかし、読書によって想像力が働き、次第に先を見通す力だったり判断力が身に付くのです。できれば、本日ご参加いただいている保護者の方々も一緒に、お子さんと同じ本を読み、感想を話し合うことをお勧めします。家で読むことから家読(うちどく)が注目されています。せっかくの機会ですから、親子で一緒に読む本を選んでみるのもいいのではないのでしょうか。

3点目は、「学年数×10分以上の家庭学習を毎日、継続して行う」ことです。例えば、3年生ならば、30分です。参考までに、10月に6年生対象として全国学力学習状況調査をしたところ、ほとんどの児童は宿題をしていることが分かりました。ところが、復習をしているのは半数の児童に止まり、予習は3分の1の児童の実施でした。また、テストで間違ったところを家庭学習で見直すことも大事な復習です。予習を通して、明日の授業でどんな内容を学習するのかの心構えを持つことができます。宿題を言われてするのはではなく、自ら進んで復習や予習を計画的に行う児童は、成績が向上していることが分かりました。冬休みの家庭学習の習慣化を図っていききたいものです。

4点目は、「パソコンやゲームは1時間以内にする。」ということです。特に、寝る前にゲームをすると興奮して眠れなくなります。また、熟睡できないこともあります。テレビを見る時間はどうでしょうか。テレビのスイッチを切る時間を家庭での約束にすることも大切なことです。

最後に、事故防止についてです。2学期は大きな事故はありませんでした。道路の飛び出しだけでなく、自転車の正しい乗り方についてもご家庭でお話願います。特に、毎回お話していることですが、ヘルメット着用は、法律にも示されています。学校としましては、自転車に乗っている時、ヘルメットをかぶっていない児童を見かけた場合は指導しておりますので、保護者の皆様にもご協力いただきますようお願いいたします。

インフルエンザに備えて

県内では、インフルエンザが猛威を振るいはじめました。本校は今のところ大丈夫ですが、集団感染から通常の教育活動ができなくなることがあります。インフルエンザは、感染症で風邪とは本質的に違います。インフルエンザは、解熱した後2日を経過するまで登校できないことになっています。(ただし、病状により医師から感染のおそれがないと認められたときはこの限りではありません)そこで、次の点にご留意願います。

インフルエンザ予防のために… くご家庭で注意していただきたいこと>

- ①室内の換気に気をつける。
- ②「手洗い」と「うがい」を励行する。
- ③十分な栄養と休養をとる。
- ④人混みを避けるようにする。
- ⑤マスクを着用する。(せきエチケット)
※ 体調不良にもかかわらず、習い事(そろばんやスポ少等)に参加して、かぜをこじらせてしまうお子さんもおります。十分ご注意ください。

※ 裏面は、保・幼・小・中の連携で育てたい「志とやさしさをもつ子ども」の図です。

「ささえる家庭」「みまもる地域」「はぐくむ学校」の内容をご覧いただき、生活習慣の確立にとって大切な内容を示していますので、ぜひ参考にしてください。